

公益財団法人 循環器病研究振興財団
令和2年度事業報告書

令和2年度においては、助成事業、普及支援事業、調査研究事業の3分野の事業を行った。

【1】助成事業

(42,990千円)

1. 公募研究助成

(18,800千円)

(1) 公募自由課題研究助成

(8,000千円)

「山内進循環器病研究助成」

【研究テーマ】循環器病に関する、臨床、基礎、トランスレーショナルの3分野についての研究

【応募数：32 課題】

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	動脈硬化の慢性炎症における血管周囲脂肪の役割の解明	上田 和孝	東京大学医学部附属病院 循環器内科 特任助教	2,000千円
2	心筋症に対する、QSI法を用いた新たな心臓MRI解析技術の開発	勝俣 良紀	慶應義塾大学医学部 内科学(循環器) 特任講師	2,000千円
3	物理的刺激で活性化される心臓自然免疫シグナルの解明	高橋 佑典	国立循環器病研究センター研究所 分子薬理部 上級研究員	2,000千円
4	大動脈周囲褐色脂肪組織および MLX 遺伝子が高安動脈炎に及ぼす影響についての検討	田村 夏子	東京医科歯科大学 循環制御内科学 非常勤講師	2,000千円

《研究発表会開催予定》 令和3年11月11日(木) (会場：国立循環器病研究センター)

(2) バイエル循環器病研究助成

(10,000千円)

【研究テーマ】脳・心・腎疾患と Big Data

【応募数：40 課題】

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	DPC 由来ビッグデータを用いた循環器疾患入院医療における医師誘発需要の検討～医師数、医療費、患者転帰の関連～	大山 善昭	群馬大学医学部附属病院 臨床試験部 准教授	2,500千円
2	医療・介護レセプトデータを用いた、脳・心・腎疾患終末期の実態把握とそれを利用した、終末期医療の質向上に対する提言	金岡幸嗣朗	奈良県立医科大学 循環器内科 医師	2,500千円
3	Big Data が拓く心房細動の未来医療	CHA PEI CHIENG	国立循環器病研究センター 研究所 病態ゲノム医学部 上級研究員	2,500千円
4	日英の医療 Big Data 比較による循環器医療の質・特徴の可視化	中尾 一泰	国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医師	2,500千円

《研究発表会開催予定》 令和3年9月17日(金)～19日(日) (第69回日本心臓病学会学術集会)

※新型コロナウイルスの影響で未開催の2019年度採択課題と併せて開催予定

(3) 循環器疾患看護研究助成

(800 千円)

【研究テーマ】自由課題 (循環器疾患看護に関する研究)

【応募数：7 課題】

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	日本語版 Leuven Knowledge Questionnaire for Congenital Heart Disease (先天性心疾患のための Leuven 知識調査票) の開発および妥当性の検討	秋山 直美	横浜市立大学大学院 医学研究科 看護学専攻 博士前期課程	200 千円
2	補助人工心臓 (VAD) 装着患者の健康関連 QOL の長期的変化：治療戦略別での比較検討	浅瀬万里子	国立循環器病研究センター 移植医療部 臨床研究コーディネーター (CRC)	200 千円
3	在宅療養を支える慢性心不全看護認定看護師の実践	北 麻友子	関西医科大学大学院看護学研究科 治療看護分野 慢性疾患看護学領域 博士前期課程	200 千円
4	循環器病棟看護師の心不全患者に対する意思決定支援の実際と認識	安川 千晶	京都光華女子大学 健康科学部看護学科 成人看護学領域 助教	200 千円

《研究発表会開催予定》 令和3年10月9日 (土)・10日 (日) (第18回日本循環器看護学会学術集会)

2. 指定研究助成

(24,190 千円)

(個別研究)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額 助成終了年度
1	血管病変の早期診断治療における画像処理情報技術の向上に関する研究	飯田秀博	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 客員教授	(継続) 1,500 千円 令和6年度
2	メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究	野口輝夫	国立循環器病研究センター 副院長 心臓血管内科部門 部長	(継続) 500 千円 令和3年度
3	和食の脳保護・脳精神機能改善、及び、肥満・糖脂質代謝へ与える効果の検討	柳本広二	日本 BDNF 株式会社 研究所長	(継続) 760 千円 令和3年度
4	弓部大動脈疾患に対する人工血管置換術とステントグラフト内挿術の比較	湊谷謙司	京都大学大学院医学研究科 心臓血管外科 教授	(継続) 1,800 千円 令和3年度
5	糖尿病・脂質異常症・肥満症など代謝性疾患における心血管腎イベントの発症進展因子の解明と予防法・診断法・治療法の開発	細田公則	国立循環器病研究センター 動脈硬化・糖尿病内科 部長	(継続) 120 千円 令和3年度
6	腹部大動脈瘤ステントグラフトの成績向上に関わる研究	福田哲也	国立循環器病研究センター 放射線部 部長	(継続) 820 千円 令和2年度
7	心不全に対する外科的治療法の開発	藤田知之	国立循環器病研究センター 心臓血管外科 部門長	(継続) 2,200 千円 令和4年度
8	先天性心疾患における遠隔期成績向上を目指した外科治療法の開発	市川 肇	国立循環器病研究センター 小児心臓外科 部長	(継続) 500 千円 令和3年度
9	腹部ステントグラフト内挿術における、持続する type II エンドリーク の瘤拡大へ及ぼす影響—予防的塞栓術の必要性に関する研究	松田 均	国立循環器病研究センター 心臓血管外科・血管外科 部長	(継続) 400 千円 令和3年度
10	補助人工心臓装着患者の在宅療養システム構築のための臨床的研究	福嶋教偉	国立循環器病研究センター 移植医療部 部長 (臨床栄養部長併任)	(継続) 400 千円 令和3年度

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額 助成終了年度
11	生体弁機能不全に対する高圧バルーンを使用した Valve-in-Valve 治療に関する研究	小林順二郎	国立循環器病研究センター 名誉院長	(継続) 600 千円 令和 3 年度
12	血圧および血行動態の日内変動に関する研究	岩嶋義雄	獨協医科大学 腎臓・高血圧内科 学内准教授	(継続) 180 千円 令和 4 年度
13	近赤外線分光法による局所脳酸素飽和度の精度に関する研究	吉谷健司	国立循環器病研究センター 輸血管理部長	(継続) 800 千円 令和 3 年度
14	循環器病におけるイメージングバイオマーカーを用いた新たな包括的画像解析技術の開発と臨床応用	福田哲也	国立循環器病研究センター 放射線部 部長	(新規) 500 千円 令和 5 年度

(多施設共同研究)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額 助成終了年度
15	虚血性心疾患における心電図同期 SPECT (QGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究 (J-ACCESS)	西村恒彦	京都府立医科大学 特任 (名誉) 教授	(継続) 1,790 千円 令和 4 年度
16	急性脳血管症候群登録観察研究 (ACVS registry Study)	内山真一郎	山王病院・山王メディカルセンター 脳血管センター長	(継続) 3,000 千円 令和 3 年度
17	様々な心血管疾患における酸化ストレスの関与に関する基礎および包括的大規模臨床検討	辻田健一	一般財団法人熊本循環器学会 代表理事	(継続) 500 千円 令和 3 年度
18	アログリプチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPEAD-A)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 4,010 千円 令和 3 年度
19	シタグリプチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPIKE study)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 3,710 千円 令和 4 年度
20	大動脈解離に対する弓部・下行大動脈のステントグラフト内挿術の中長期成績の検討	松田 均	国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門 血管外科 部長	(継続) 100 千円 令和 3 年度

【2】普及支援事業

(8,073 千円)

1. 研究成果発表

(379 千円)

(1) 研究業績集の発行

(98 千円)

前年度の研究助成の成果を研究報告集にまとめて、大学・研究所等へ配布
(指定研究助成：200 部発行)

(2) 研究発表会の開催

(281 千円)

研究発表会を開催し、前年度に実施した公募研究助成の研究成果の発表

	発表会名	開催日時・場所等
1	「循環器疾患看護研究助成」研究発表会	・日時： 令和2年10月11日 (日) 13:00~13:50 ・会場： 第17回日本循環器看護学会学術集会 (WEB開催)

	発表会名	開催日時・場所等
2	「山内進循環器病研究助成」研究発表会	・日時： 令和2年11月19日（木）16:00～17:00 ・会場： 国立循環器病研究センターエントランス棟3階講堂

2. 移植医療支援等事業

(0千円)

循環器疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援（アグネス基金）

3. 予防啓発活動

(7,694千円)

(1) 小冊子

(7,188千円)

『知っておきたい循環器病あれこれ』の刊行

循環器病予防啓発の小冊子を奇数月に発行し、国立循環器病研究センター、健康保険組合、講演会などで一般市民に配布（5,000部発行）

	タイトル	執筆者		発行日
140	心房細動治療の最前線	鎌倉 令 草野研吾	国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門不整脈科 医師／部長	令和2年5月1日
141	循環器病と妊娠・出産	吉松 淳	国立循環器病研究センター 小児循環器・産婦人科 部長	令和2年7月1日
142	大動脈解離治療の最前線	松田 均	国立循環器病研究センター 血管外科 部長	令和2年9月1日
143	がんと心臓病 —なぜいま「腫瘍循環器学」なのか—	堀 正二	大阪国際がんセンター 名誉総長 循環器病研究振興財団 理事	令和2年11月1日
144	循環器病と新型コロナウイルス感染症 —“対コロナ”・“withコロナ”へ—	佐田 誠	国立循環器病研究センター 呼吸器・感染症診療部 呼吸器科 ／感染症科 医療安全管理部 感染対策室	令和3年1月1日
145	コロナ禍に挑む国循の新研究 —新鋭エクモと高性能マスク—	望月直樹 西中知博 西村邦宏	国立循環器病研究センター 研究所長／人工臓器部長／予防 医学・疫学情報部	令和3年3月1日

(2) 機関誌『季報』の発行

(210千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開など

(3) ホームページの運営 (<http://www.jcvrf.jp>)

(296千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開、助成事業の公募案内など

(4) 市民健康

(0千円)

一般市民を対象に循環器病予防に関する知識の普及および啓発のために講座を開催

(5) キャンペーン

阪神甲子園球場のオーロラビジョン、ライナービジョンで財団のPRと予防啓発（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）

(6) 共催・後援名義使用

(共催)

	名 称	主 催 者	日時・場所
1	2020年度脳卒中週間ポスター	日本脳卒中協会 理事長 峰松一夫	・令和2年5月25日(月)～31(日) ・全国紙新聞広告等

(後援)

	催し物	主 催 者	日時・場所
1	全国生活習慣病予防月間2021及び 市民公開講演会	日本生活習慣病予防協会 理事長 宮崎 滋	・令和3年2月1日～28日 ・Web講演会(オンデマンド配信)
2	「National Wear Red Day」 キャンペーン	シナジーワールドワイド・ジャパ ン合同会社	・令和3年2月5日～28日 ・主催者本社サロン及びHP上で展開
3	2020年度心房細動ポスター	日本脳卒中協会・理事長 峰松一夫 日本不整脈心電学会・理事長 清水 渉	・令和3年3月9日～3月15日 ・新聞広告掲載等

【3】 調査研究事業

(2,454,590千円)

(完成基準)

(2,423,846千円)

	研 究 課 題	研究代表者	所属機関・職名	事業費 終了年度
1	安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房 細動患者におけるリバーロキサバン単剤療法 に関する臨床研究(AFIRE)	安田 聡	東北大学大学院循環器内科学・ 教授	1,286,099千円 令和2年度
2	実地医家を対象とした非弁膜症性心房細動患 者の脳卒中および全身性塞栓症に対するリバ ーロキサバンの有効性と安全性に関する登録 観察研究(GENERAL)	草野研吾	国立循環器病研究センター 心臓血管内科・部長	1,125,805千円 令和2年度
3	日本における急性心筋梗塞患者の治療および 予後の実態調査(JAMIR 前向き研究)	安田 聡	東北大学大学院循環器内科学・ 教授	(継続) 11,942千円 令和3年度

(進行基準)

(30,744千円)

	研 究 課 題	研究代表者	所属機関・職名	事業費 終了年度
4	非弁膜症性心房細動患者の急性脳梗塞/TIA に おけるリバーロキサバンの投与開始時期に関 する観察研究(RELAXED)	峰松一夫	医療法人医誠会・常務理事/ 臨床顧問	30,744千円 令和2年度